Power Automate Desktopとは?できることや使い方を画像付きで 解説

河原伸一

2022.06.08 (最終更新: 2022.06.08)

Power Automate Desktop とは、データの収集・整理・加工などパソコンで操作している手順を記録して、業務効率につながるアプリを開発できる製品です。Power Automate Desktop リリース当初から、200本以上の動画・ノウハウを公開している著者が、製品の機能・特徴・効果的な活用方法について解説します。

目次

1 Power Automate Desktop とは?

- 1-1 Power Automate Desktop の特徴
- 1-2 Power Automate Desktop の価格

2 Power Automate Desktop でできること

- 2-1 Excel 業務を効率化できる
- 2-2 ネット情報取得業務の効率化を実現できる
- 2-3 デスクトップアプリ連携により重複業務の排除が可能になる

3 Power Automate Desktop の使い方

- 3-1 Power Automate Desktop のインストール手順
- 3-2 Power Automate Desktopのサンプルアプリを開く手順
- 3-3 サンプルフローからExcel レポートを集約するための手順
- 4 手軽に始め、組織の業務改革に活用できるツール

1 Power Automate Desktop とは?

Power Automate Desktop は、業務フローにアクションと呼ばれるコントロールを配置し、パラメータを設定してアプリを開発する製品です。

複数の Excel ファイルに記録されたデータをひとつのExcel ファイルに自動でまとめる、ネット上の情報から必要なものだけを自動でピックアップして収集する、といったことができます。

まずは、Power Automate という類似製品と比較しながら特徴と価格を紹介します。

Power Automate Desktopの特徴とできること

。Power Automate Desktopの特徴(Power Automateとの違い)					
	Power Automate Desktop Power Automate				
開発・実行環境	パソコン	Microsoft Azure			
実行方法	パソコンで起動し、手動操作で実行される	自動、予定、インスタントなどの 条件指定により起動し、自動で実行される			
必要なスキル	パソコンでの操作手順などのスキルのみ	コネクタに関する知識・スキル			
費用	有償・無償	有償			

🕑 Power Automate Desktopでできること



Power Automate Desktopの特徴とできること (デザイン:吉田咲雪)

1-1 Power Automate Desktop の特徴

Power Automate Desktop の実行環境は主にパソコンであり、操作スキルもそこまで求められないのが特徴です。

一方で、Power Automate の実行環境は、Microsoft Azureというクラウドプラットフォームであり、コネクタ(詳細後述)に関する知識 が必要という違いがあります。

ツールに対する専門知識がそこまでない場合や、手軽に導入したい場合はPower Automate Desktop が適しているでしょう。

項目名	Power Automate Desktop	Power Automate
開発・実行環境	パソコン	Microsoft Azure
実行方法	パソコンで起動し、手動操作で実行され る	自動、予定、インスタントなどの条件指 定により起動し、自動で実行される
コネクタ・アクション数	365 アクション	690 コネクタ
必要なスキル	パソコンでの操作手順などのスキルのみ	コネクタに関する知識・スキル
監視機能	画面に表示されるエラーメッセージのみ	過去履歴を含め蓄積
費用	有償・無償	有償

※コネクタは、外部サービス(例:Facebook, Twitterなど)を利用するための機能
※アクションは、フロー内で処理を定義(Excelを開く、ループ処理など)する際に利用する機能

①有償版

有償版は、Power Automate, Microsoft 365, Dynamics 365 などでライセンス契約した際に作成したアカウントを利用するタイプです。 そのため、料金は契約したライセンスによって変わります。

一方で、すべてのライセンスで Power Automate Desktop を利用できるわけではありません。

下表は、Power Automate ライセンスの各料金と、Power Automate Desktopの利用可否をまとめたものです。

項目名	Power Automate の価格	Power Automate Desktop の利用可否
ユーザー毎のライセンス	1630円	×
ユーザー毎のライセンス・アテンド型	4350円	0
フロー毎のライセンス	1万870円	×
非アテンド型 RPA アドオン	1万6310円	0

※アテンド型は、パソコンを起動し、ログインした状態で Power Automate Desktop を利用する形態 ※非アテンド型は、パソコンを起動し、ログインしていない状態で Power Automate Desktop を利用する形態

②無償版

無償版は、「Windows 10 以降のOS」で「Microsoft アカウント利用時」にかぎり、利用できます。

③有償ライセンスを利用するメリット

Power Automate Desktop は、無償版ライセンスで利用もできますが、有償版には次のようなメリットがあるため、自社の利用環境にあわせて選択することをおすすめします。

1. 自動的に処理を実行できる

無償版では特定の時間・条件で自動的にフローを実行することはできませんが、有償版では自動的に処理実行が可能です。

- エラー発生時の履歴管理ができる 無償版では実行時に画面に表示されるエラーだけしか把握することはできませんが、有償版ではエラー情報が蓄積されて過去の履歴とし て把握することが可能です。
- 3. 処理分散ができる

Power Automate Desktop を複数のパソコンで実行する場合、複数のパソコンで処理を振り分けて実行でき、処理遅延の軽減を図ることができます。

2 Power Automate Desktop でできること

2-1 Excel 業務を効率化できる

Excel 操作に特化したアクションが28個用意されており、Excel のマクロを利用して業務効率化を推進している方に最適なツールとして利用可能です。



たとえば、各地区営業部門から送信された売上 Excel ファイルを特定のフォルダーに保存し、フロー実行することで、各ファイルのデータをひとつの Excel ファイルに自動でまとめることができます。

2-2 ネット情報取得業務の効率化を実現できる

インターネットで公開されているさまざまな情報を取得するアクションが23個用意されており、サイトから必要な情報をコピー& ペース トで利用する方に業務効率化と信頼性をアップするツールとして利用可能です。



たとえば、特定日時の天気情報を取得し、関連する情報(天気・気温・湿度など)を元に特定の計算式から売れる弁当数を予測して、準備 する弁当数を Excel ファイルなどに出力できます。

2-3 デスクトップアプリ連携により重複業務の排除が可能になる

デスクトップアプリを操作するアクションが32個用意されており、自動化することで、重複データ入力業務を削減するツールとして利用可 能です。



たとえば、イベント・営業活動で取得した顧客情報をエクセルファイルに入力し、さらに社内顧客管理システムにも登録するとき、同じ情報を繰り返し入力する重複作業を削除しながら、自動的に社内営業管理システムに登録を行うことができます。

3 Power Automate Desktop の使い方

次に Power Automate Desktop を利用する手順について、具体的なインストール手順・テンプレート利用によるフロー作成・利用方法に ついてご紹介します。

3-1 Power Automate Desktop のインストール手順

Power Automate Desktop は、Microsoft Store 🗹 で公開されているアプリです。Microsoft Store を利用することで、簡単にインストールでき、アップデートも簡単に行うことができます。

※Windows 11 からはOSの一部として組み込まれているため、すぐに利用可能です。



Microsoft Store を起動したら、検索欄に Power Automate と入力(①)、検索アイコンを選択(②)します。Power Automate の詳細画 面が出てくるので、入手アイコンを選択(③) すれば、インストール完了です。

3-2 Power Automate Desktopのサンプルアプリを開く手順

Power Automate Desktop には、テンプレートとして直ぐに利用できるサンプルアプリが提供されています。本記事では、サンプルアプリの選択画面に進むまでの手順についてご紹介します。

まずは、タスクバーからインジケーターを選択(①)、Power Automate Desktop アイコンをダブルクリック(②)して、Power Automate Desktop を起動させましょう。



インジケーター

フローコンソール画面(作成したフローの実行・修正などを行う画面)から、例を選択します。

		Power Automate		Shinichi Kawara 😑 🛛	×
+ #66020-				◎ 設定 ? ヘルプ 、P 70-6快命	
■分の20- 例	D			〇 最新な状態に更新	
		変更日時 へ	ステータス		

フローコンソール画面

無事にサンプルアプリの選択画面が開きました。





表示された画面から、サンプルアプリのカテゴリを選択します。以下で、カテゴリからサンプルアプリの概要をご紹介します。

①Excel 自動化

Excel 自動化サンプルでは、Excel を操作する際に必要になるアクションの利用方法について説明しています。

	Power Automate		Shivichi Kovara 👘 👘	0 X
+ #60/20-		🔘 PZ	? ~\$7 P 70-000	
前分070- 例				
☆ Excel 自動化 ∨				
-* 48 1 2 3 4	說明	ステークス	L-KIL	
• 😸 bxcel レdf-hを集約する 👂 🗆 🖉 🗄	多くの企業や総築で、大量のデータから大規模なしポートを作成するプロセスが日常的 に行われます。Rower Automate を使用すれば、データ収集およびしポート作成の作業 をすべて自動化し、すばやく行うことができます。	実行されていません	N 98	
eee SQLを使用して Excel データを換作する	SQL ウエリでは、大量の Excel データを汚染的に利用することで、健康なデータ処理の 負責を任成できます。Power Automate を使用すると、SQL ウエリを使用して Excel ス プレッドシートにアウロスおよび原転することができます。	実行されていません	# \$FHE	
● Excel の様を検索して置換する	大規模な Excel スプレッドシートを操作して他を検索および置換する作家には時間と手 間がかかります。Power Automate © Excel アウションを使用すると、Excel の処理が 簡単になり、検索に必要な時間を利用できます。	素行されていません	♥ 初級	
48 Excel 0.428th	Excel スプレッドシートを利用すると、大量の構造セデータを使用して分析できます。 Power Automate は専用のアクション グループを提供して、Excel スプレッドシートの絵 動など、基本が559スクを自動化します。	実行されていません	• 1048	
0倍 Excelを起版してテーブルを抽出する	構造化データを local に保存する最も一般的な方法は、テーブルを使用することです。 Power Automate を利用すると、テーブル主体からデータを取得したり、特定の行と列注 漏好したりできます。	実行されていません	• 初級	

【画面概要】

- 1) 選択したフローを実行
- 2) 実行しているフローを停止
- 3) 選択したフローを修正(フローデザイナーが起動)
- 4) その他メニューを表示(実行・停止・編集・コピーを作成)

②Web オートメーション

Web オートメーションサンプルでは、Web ページを操作する際に必要になるアクションの利用方法について説明しています。

	Power Automate		Shinichi Kawara 😑 🛛
+ #f(J,170-) PZ	? ALT ,P 70-688
89070- M web x-t-X-yay ∨ -* 68 0 0 web ry£M ↓ 2 3 4 ↓ 2 1 2 1 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	説明 めい We 57.2を発行する所は、単面にプラウブウムジウを起動して、適切な Web ペール語からなら記者がなます。Power Automate を利用すると、すべての一般的な	ステータス 実行されていません	ษณ⊎ ♥ 136
Web ページのスクリーンショットを取得する	フラフロウマスクスな影響にし、それによい時の小学生数の品にとなります。 スクリーンション・分類などは、地方「ひょうな意味能等」でしたようし、「したようし」・「しています」です。 いたようし、「ひょうな」の「したい」では、「ひょうな」の「ひょうない」では、 リオはなりく使ってき、りかから、れたのかなは、意見入りつくいます。 くりはない」の「なってき、りかから、れたのかなは、意見入りつくいます。 くりなった。」の一般で、日本のから、日本のから、「なった」の「したよう」、Web ページ会社または特定の「Web 悪素のスクリーンショントを意思できます。	実行されていません	• mit
↔ Web ページロメタデータを取得する	メタテーダは、Webパージのコンテンツを説明したためで、それらにラングしたキーワードを会 みます。Power Automate それ損害など、これらのメタデータを取得して、必要に応じて 分析や操作を集行できます。	案行されていません	P +0

【画面概要】

- 1) 選択したフローを実行
- 2) 実行しているフローを停止
- 3) 選択したフローを修正(フローデザイナーが起動)
- 4) その他メニューを表示(実行・停止・編集・コピーを作成)

③デスクトップオートメーション

デスクトップオートメーションサンプルでは、デスクトップアプリを操作する際に必要になるアクションの利用方法について説明していま す。



【画面概要】

- 1) 選択したフローを実行
- 2) 実行しているフローを停止
- 3) 選択したフローを修正(フローデザイナーが起動)
- 4) その他メニューを表示(実行・停止・編集・コピーを作成)

3-3 サンプルフローからExcel レポートを集約するための手順

最後に、サンプルフローから、Excel レポートを集約するフローを作成するまでの手順をご紹介します。



【画面概要】

- 1) アクショングループ フローを作成するアクションが一覧で表示
- 2) ワークスペース アクショングループからアクションをドラッグアンドドロップで配置し、フローを作成
- 3) 変数ペイン フロー内で利用される変数が一覧で表示

②アクションを構成する

アクションをワークスペースに配置またはダブルクリックすることで、アクションダイアログが表示されます。必要なパラメータ、自動生 成される変数を確認します。

Excel の起動	\times
オ新しい Excel インスタンスを起動するか、Excel ドキュメントを開きます 詳細	
パラメーターの選択	
✓ 全般 1	
Excel の起動: 空のドキュメントを使用	~ (i
インスタンスを表示する:	()
> 詳細	
> 生成された変数 Excellnstance 2	
♡ エラー発生時 保存	キャンセル

【画面概要】

- 1) テキスト、ドロップダウン、チェックボックス、フォームなどパラメータを設定
- 2) 自動生成された変数は、他のアクションで利用

③作成したフローを実行する

作成したフローを、①を選択して実行します。

ファイル 編集 デバック フール	88 AV2	Excel UIS-下王篇的字句 Power Autom	436	- 0
ア クション	₽ ▷ □	▶ ⑧	₽ 変数	×
,○ 7953303検索	-00	3 Main X Get_Dozel_Files_Details	P ERONE	
XB	1	+ 新しいリストの作成 新しいリストの作成して しま に発行	◇ 入出力変数 0	
条件 37	2	ッパ サブフローの実行 サブフロー Get_Excel_Files_Details を実行する		
TR-TVMR-R			ここにはまだ入力または	自力の変数がありません
20-8実行する	1	☆ 特別なフォルダーを取得 フォルグードキュメントのバスを取得し、DocumentafolderFath に供存す♪		•
システム				
ワークステーション	4	Do fine laurches a new forst instance that will be used later to store the rol	The state of the second state in the second state of the second st	
スクリプト			·)D-KK 1	
774W		Excel (D)EBb	01 Button/Vessed	
721/9-	5	新しい Excel プロセスを使用して登自のドキュメントで Excel を起動し、Excel インスタン、 ます。	X Escellentance LORPL	
圧縮			04 ButtonPressed2	
UI オートメーション	6			
HTTP		The loop runs the 'Read_Write_Excel_Date' subflow for each file stored into t	the list (i) CustomForm.	
ブラウザー自動化		 C) Loop Looping from 0 to 1 ist Court - Luith des 1 	OI CustonFrom.	
Excel		and and and and an and an and a		
データベース		ッ ^の サブフローの実行 サブフロ- Read_Write_Excel_Data E実行する	⁶⁰ Documentafo	
×-1,				
Exchange		P ^D End	01 EscelData	
Outlook			0) Excellectance	
メッセージ ボックス		3/2/		
マウスとキーボード	10	The 'Save Excel' action saves the consolidated report in your documents fold retrieved using the 'Set special folder' action in step 3.	ter, The folder path 6 01 Excellinitance2	
クリップボード				
7421		Excel の保存	(i) Trust reeflow	
84	11	Excentration Literereruc usel 5年13/37-E DocumentiFolderPath "Co 存	HIGH GAME REPORT OF LIN	
nor			•	

【画面概要】

- 1) 実行 作成したフローを実行
- 2) 停止 実行しているフローを停止
- 3) アクション毎に実行 一つのアクションを順番に実行
- 4) 実行遅延 アクション実行後にフローが待機する時間を設定

④フローの不具合を調査する

作成したフローが正常に動作し無い場合には、変数の値を確認しながら、不具合箇所の特定を行いながら、修正を行います。

2245 SE FASS 9-3	18日、 へあり	Excel Liff-hEMBV#3 Power Automate		- 0
アクション	ta ⊳ □ >	1 🐵	₽ 変数	×
₽ 775±>00m	_ <mark>∕2</mark> ₀- ∨	Main Get, Excel, Files, Details	A MERCHAR	
> 業数	0 1	+ 新しいリストもの作成 新しいリストをか成して (Lat.) に併存	◇ 入出力変数 0	
> An > 8-7	2	ッ ^の サプフローの実行 サブフロー Get_Exed_Rites_Details を実行する		
> 20-32+0-8		→ 特別なフォルダー★取得	ここにはまだ入力または出力の実験の	ありません
> 5274	1	H フォルダードキュメットのパスを取得し、Documental olderPath に保存する		
> ワークステーション > スクリプト	4	The flow launches a new Excel instance that will be used later to store the consolidated data.	√ 70-安数 13	V
> 754% > 74%9-	5	Excel の記録 特別したのの プロマスを使用して空ロのデキュメントで Excel を想象し、Excel インスクンス (Excelのintender	ER#L	
> 圧縮 > UIオートメージョン	6	אַעאַב די	el ButtonPressed2 Submit	_
 > HTTP > ブラウザー自動化 	l	C Loop Loophden from 0 to List .Count -1 with step 1 : 3	of CustomForm(StatisticalFile) DUE	B
> Eccel > 7-9-4-7		u ^a サブフローの実行 サブフロー Read, Write, Excel, Data E実行する	H Documentaño Dijkawara	-
> x-l) > Exchange	9	^(D) End	Of ExcelData 0 (T, 0 9)	
> Outlook > メッセージ ポックス		אנאב	H Excellestance Excel (22922	_
> マウスとキーボード > クリップボード	50	y ²²⁴ The Save Score action saves the consolidated report in your documents folder. The folder pa retrieved using the 'Set special folder' action in step 3.	en en en boselinstance2	
> 942F	31	Excel の保存 の たきにのはないた にの ドキュメントモーDocumentsFolderRath、"Consolidated Report	er 2LT#	
2 日時 1 月時		17	@	

【画面概要】

- 1) ブレークポイント設定 処理を停止する場所をマウスで選択することで停止位置を指定、再度選択することで解除可能
- 2) 実行 作成したフローを実行
- 3) 処理停止 ブレークポイントでフローの一時停止
- 4) 変数値確認 フロー停止位置で変数の値を確認

4 手軽に始め、組織の業務改革に活用できるツール

Power Automate Desktop は、「ノーコード・ローコードで業務を改善できる」という言葉で登場した RPA(Robotic Process Automation)の一つと位置づけられる製品です。

市場では、さまざまな RPA 製品が提供されていますが、導入費用・導入工数・導入教育などが必要になるものが少なくなく、諦める方も 多いと聞きます。

一方で、今回ご紹介した「Power Automate Desktop」は、無償版ライセンスなどもあり、個人レベルから始めることができるものです。

ある程度のスキルも必要になりますが、操作性も良いので、シンプルな業務改善から始めてステップアップを図りながら利用していくと、 組織での自動化・効率化ツールとして役立つかと思います。



河原伸一

有限会社 アクティブ・ブレイン 代表

この記事を書いた人

大阪市在住。Microsoft認定資格を取得しながら、自ら得た体系的な知識をYouTubeに年間300本以上公開、また、「Power Automate Desktop入門」「Power Apps でアマゾン販売アプリを開発する」電子書籍をアマゾン Kindle 版で販売。Power Platformのノウハウ・知識を提供するPower Platform開発者

河原伸一の記事を読む



朝日新聞社が運営する「ツギノジダイ」は、中小企業の経営者や後継者、後を継ごうか迷っている人たち に寄り添うメディアです。さまざまな事業承継の選択肢や必要な基礎知識を紹介します。

さらに会社を継いだ経営者のインタビューや売り上げアップ、経営改革に役立つ事例など、次の時代を勝 ち抜くヒントをお届けします。企業が今ある理由は、顧客に選ばれて続けてきたからです。刻々と変化す る経営環境に柔軟に対応し、それぞれの強みを生かせば、さらに成長できます。

ツギノジダイは後継者不足という社会課題の解決に向けて、みなさまと一緒に考えていきます。